

緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 令和元年 10月24日

緩和ケア普及啓発活動についての報告

実施団体	
国立病院機構九州がんセンター	
企画名	
第16回在宅移行カンファレンス	
事前告知、募集の方法について(ポスター、チラシの配布など)	
事前に当院のホームページや会議などで募集呼びかけ	
当日の実施内容について	
日時(期間)	2019年9月25日(水)
実施場所	国立病院機構九州がんセンター講堂内
参加人数	約50名
具体的な実施内容： 九州がんセンター周辺地域の病院や在宅診療に携わるメディカルスタッフと、当院の医療者間で在宅療養支援を行った患者・家族の支援について支援方法や連携方法など検討した。	
効果について(アンケートの結果など)	
医療・福祉関係の参加者であった。質問などはなかったが手に取りご覧になる姿や、持ち帰る姿が見受けられた。	
その他報告	
なし	
公式ホームページ(緩和ケア.net)への掲載について	
<input checked="" type="checkbox"/> 掲載してもよい ・ <input type="checkbox"/> 掲載しないで欲しい	
※掲載を希望される場合、個人情報の取扱いにご注意ください	

- ポスター、チラシなどを作成した場合、添付してください
 - 当日の様子(当日配布資料、会場、イベント実施時の写真など)を添付してください
- ※個人が特定できるお写真などの情報の掲載はお控えください。



九州がんセンター第16回 在宅移行カンファレンス

核家族化や高齢化、単身者の増加だけでなく家族関係など現代における家族のあり様は大きく変化しています。
 今回、家族は居るが関係性が希薄で、家族成員のサポートを得ることが難しい壮年期患者さんが在宅療養を希望された事例から、地域の医療者との連携や協働について意見交換したいと思い企画しました。
 地域の訪問診療の先生、訪問看護師さん、ケアマネジャーさん、介護職員の皆さんと、地域で患者・家族を支えるための連携のあり方について意見交換できる貴重な機会なので、ぜひご参加ください。

テーマ：
**家族関係が希薄な壮年期患者を
 どう支えるか**

日時：2019年9月25日（水）

19:00-20:10

場所：九州がんセンター
 講堂Ⅰ・Ⅱ

